

ISNCC COVID-19 Position Statement

国際がん看護学会のCOVID-19に関する立場表明

作成日：2020年3月14日

理事会承認日：2020年4月2日

はじめに

重症急性呼吸器症候群コロナウイルス2（SARS-CoV-2）の感染によって引き起こされる新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、国際保健にとって重要な新しいウイルスである。SARS-CoV-2は、感染者の気管支肺胞洗浄液のサンプルで同定された典型的なB系統のベータコロナウイルスと認識されている¹。COVID-19は高い伝染能力と重大な罹患率・死亡率を有する。一部のがん患者では、特に患者が免疫低下状態にある場合、COVID-19による合併症のリスクはより高いと推測される²。2020年3月11日、世界保健機関（WHO）はCOVID-19をパンデミック（世界的流行）と表明した。COVID-19の予防と管理には、スクリーニング、注意深い自己防衛、システム全体にわたる戦略が不可欠である。看護師はCOVID-19パンデミックに対処する最前線にいる。

目的

がん患者とその家族ならびに非家族介護者、そして、それらの人々をケアする看護師に対し、COVID-19の予防と管理の戦略を提唱すること。

背景

2019年12月以来、コロナウイルス（SARS-CoV-2）感染のアウトブレイクが世界中に広がった。WHOは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）をパンデミックと表明した³。SARS-CoV-2は飛沫感染と接触感染によりヒトからヒトへ感染を広げると考えられている⁴。比較的近い環境で、長時間、高濃度のエアロゾルに曝されることによって感染する可能性が報告されている⁵。感染源を管理し、感染経路を遮断してCOVID-19のさらなる拡大を抑制するためには、患者の早期発見と管理が重要である⁶。高齢者や免疫機能の低下を含む基礎疾患をもつ人は、COVID-19を発症するリスクが高く、より集中的な治療を必要とする⁷⁻⁸。

様々な治療を受けているがん患者は、重篤な感染を発症するリスクが高い感受性の高い集団である⁹。COVID-19に感染した場合、患者によってはがん治療を一時的に中止しなければならなくなるかもしれない。がん治療の延期や変更は治療成績に影響を及ぼす可能性があるため、がん治療医との話し合いの後にのみ選択肢となる¹⁰。加えて、医療従事者、特に患者と密に接触する看護師の労働安全は重大な懸念である。看護師が必要とされる看護ケアを継続して行うためには、適切な個人防護具（PPE）の提供が不可欠である。感染の潜在的リスクとCOVID-19によるヘルスシステムへの負担が増大するにつれ、看護師が直面する課題はますます大きくなっている¹¹。COVID-19の予防と管理に関するがん患者と看護師のための方略は、全てのヘルスシステムにとって最優先事項のひとつである。

立場

国際がん看護学会（ISNCC）は、がん患者および看護師へのリスクを最小限に抑えるため、COVID-19の予防と管理の促進に取り組む。ISNCCは、COVID-19の予防と管理における看護師の役割ががん患者の利益のために確実に最適化されるよう提言することに取り組む。

なぜなら、看護師は

- がんによる影響を受けた人々に対してヘルスサービスを提供する最前線にあり、感染管理に関連した地域や公共教育の取り組みに参画している。
- COVID-19のリスクがあるがん患者やCOVID-19と診断されたがん患者に対する包括的な身体的・心理的支援だけでなく、感染管理を確実にするための対策を含む根拠に基づいたケアを提供する。
- 日々の看護業務において患者と密に接するため、COVID-19に曝露するリスクが高い。

がん患者に向けて

- がん患者はハイリスクな患者群であり、免疫機能低下のためにCOVID-19に感染しやすい。
- がん患者とその家族は、COVID-19に関して、感染やがん治療の遅れ、死亡を恐れ、より大きなストレスを体験する可能性がある。
- COVID-19と診断されたがん患者は、適切な臨床的および支持的ケア介入を必要とする様々な症状や感染関連反応を体験する可能性がある。

看護師に向けて

- 複雑な公衆衛生の課題に直面したときには、ヘルスケアサービスの回復力を確保するために十分な数のトレーニングされた看護師が不可欠である¹²。
- 看護師は患者に独自のサービスを提供し、この公衆衛生の緊急事態の最前線にいる¹³。政府や非政府組織は、看護師の労働力を支援するための適切な資源の配分を含め、このパンデミックに対処するために看護師が果たす多大な貢献を認識することが必要である。
- 看護師は、COVID-19に関連する政策およびプログラムの策定に関与すべきである。
- 看護師の安全は不可欠であり、これにはCOVID-19が疑われる患者や感染が確認された患者をケアする際に適したPPEが入手でき、適切に使用できることを含む¹³。
- PPEを継続的に使用することで、看護師は医療機器関連の圧迫による創傷を生じる可能性がある。この問題を回避するために関連する予防措置を講じ、対策を講じる必要がある。
- 世界中の看護師は、COVID-19のパンデミックに対応し、格段の献身と思いやりを示してきた。パンデミックの間、そしてその後も、看護師の心理的健康を適切に評価し管理することが必須である¹⁴。

推奨

がん患者に向けて

- 旅行は最小限とし、不要な屋外活動を減らし、社会的距離（他者との物理的距離）を維持する。
- 自宅を清潔に保ち、風通しをよくする。

- 手指衛生を心がけ、WHOの手指衛生のためのガイドラインに従って、少なくとも20秒間石鹸と流水で手を洗う。手を洗うことができないときは、手指消毒剤を使う。
- 十分な睡眠、定期的な自宅での運動、十分にバランスのとれた栄養の確保など、健康的なライフスタイルを維持する。
- 曝露の可能性を最小限に抑えるために、診療予約や入院については医療従事者へ確認する。
- 可能であれば、オンラインや電話で医療スタッフとのコミュニケーションを強化する。
- 発熱、咳嗽、呼吸困難、倦怠感、筋肉痛、食欲不振、喀痰など、感染の徴候がないか自分でスクリーニングを行う。異常な徴候や症状があれば、医師の診察を受ける。
- パンデミックの状況に関する信頼できる情報を入手し、地元や地域の公式なガイダンスに従う。
- ソーシャルサポートを促進するために、家族や友人、ヘルスケアの専門家と電話やオンラインで定期的に連絡を取る。
- 信頼できる情報を入手する、ヘルスケアの専門家と話す、必要に応じて心理的支援が受けられるサービスを求めるなどCOVID-19のパンデミックに関する不安や心配の軽減に役立つような方略を実施する。

看護師に向けて

- 関連する政府および保健医療当局からの助言、エビデンスにアクセスし、COVID-19の予防と管理を確実にするための対策について常に情報を得る。
- がん患者が医療施設に入る前に、COVID-19のスクリーニングを実施する。スクリーニングには、1) 旅行歴、2) COVID-19関連症状の有無を含めるべきである。
- 感染が疑われる場合は、保健医療当局ならびに各職場で定められた手順に従う。
- COVID-19の患者については、悪化を早期にとらえ、関連する臨床的・支持的ケア介入を実施できるようエビデンスに基づくケア計画を実施する。
- すべての看護師がガウン、レスピレーター、手袋を含む適切なPPEにアクセスし、使用できるよう訓練されていることを確認する。これには、PPE着脱時の汚染や感染を回避するためのプロトコルを厳格に遵守することが含まれる。
- 看護師の医療機器関連の圧迫による創傷を軽減するために、PPEの適切な選択、周囲の皮膚の定期的な評価、必要な場合にハイドロコロイド／ソフトシリコン／フィルムといったドレッシング材の適用などの対策を講じるべきである。
- がん患者の精神的状態の評価を継続し、COVID-19のパンデミックに関連した苦痛の徴候（不安、抑うつ、予期悲嘆）に対処するための方略を実施する。
- この進化する医療危機において看護師のwellbeingを促進するために、セルフケアの方略を実行し、必要に応じて支援を求める。